



ヒートアイランド対策推進

? なぜこの事業を行なっているのですか？

ヒートアイランド現象（[解説](#)）は、緑や水面など自然面の減少、アスファルト道路やコンクリート建築物等の人工被覆面の増加、エアコンや自動車等から排出される人工排熱の増加等が主な要因と考えられています。

この現象が進むと、熱中症や睡眠障害、集中豪雨や大気汚染の発生要因となり、区民の健康や生活環境だけでなく、生態系への影響も考えられることから、その対策に取り組むことが重要です。

? どのようなことを行なっていますか？

台東区では、ヒートアイランド現象を少しでも緩和するために、緑を増やし、大気や水の循環を促すなど、熱をためないまちづくりを進めています。

● 屋上・壁面緑化（緑のカーテン）の推進

住宅や事業所が密集している台東区では、緑化することができる地表部分が少ないため、学校や老人ホームなどを中心に屋上や壁面の緑化を積極的に行っています。

● 雨水利用の推進

水の循環を促し、熱をためない街を形成するため、雨水を専用のタンクにためて、再利用することを推進しています。ためた雨水は植木の水やりや打ち水などに利用することができます。

● 建物の高反射率化の推進

建物が熱をため込むことを抑制するため、熱を反射する塗料を建物に塗ることを推進しています。



浅草中学校の屋上緑化



雨水貯水槽

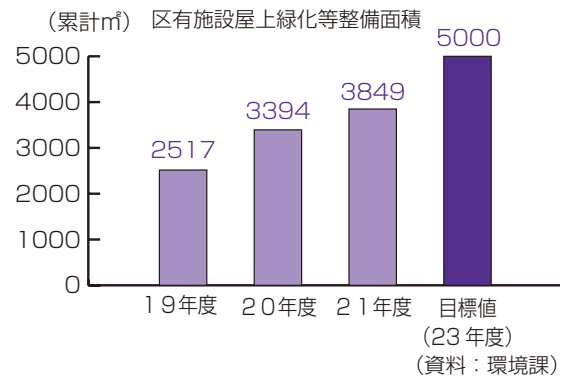
また、これらの取組みを区内に広めるため、区民・事業者の方へ屋上・壁面緑化や高反射率塗料の施工や雨水貯留槽の購入にかかった費用の一部を助成しています。

？ 事業の進み具合はどうか？

台東区では、学校や老人ホームなどの区有施設に屋上緑化や壁面緑化等の整備を行っています。

平成22年度は、蔵前小学校の屋上緑化整備、平成小学校・育英幼稚園の緑のカーテン設置を行いました。

ヒートアイランド対策として、屋上緑化等の整備面積は着実に増えてきています。



？ 今後はどのように取り組んでいくのですか？

今後も、緑化を中心としたヒートアイランド対策を進めていきます。具体的には、区役所本庁舎や学校などの屋上・壁面緑化や緑のカーテンを多くの方に見ていただき、住宅や事業所への緑化の普及に取り組んでいきます。

また、暑さをしのぐための打ち水など、昔ながらの暮らしの知恵を紹介することで、環境にやさしい暮らしを普及・啓発していきます。



打ち水の様子

■ この事業に関するお問合せは ■

環境清掃部環境課

03-5246-1323

【解説】

ヒートアイランド

都市部にできる局地的な高温域のことです。郊外と比べ都心部ほど気温が高く、等温線が島のような形になることからこの名前がついています。